



はじめに

奈良市は、国際文化観光都市として恵まれた自然環境や世界遺産をはじめとする歴史的文化遺産とともに発展してまいりました。そして、昨年4月には、旧月ヶ瀬村・旧都祁村との合併を行い、それぞれの地域が持つ優れた資源を活用したまちづくりに取り組んでおります。

一方では、今後予想される人口減少社会の到来や少子・高齢化の進行など数多くの課題を抱えており、財政面におきましてもますますその厳しさを増しております。

このような状況のなか、平城遷都1300年を迎える平成22年度を目標年度とする「奈良市第3次総合計画後期基本計画」を策定いたしました。

今回策定したこの計画は、市民の皆様が真に安全・安心で幸せに暮らすことができ、愛し愛される奈良として誇れるまちづくりを進めるための道しるべであります。

私は、第3次総合計画に掲げた都市の将来像である「世界遺産に学び、ともに歩むまち一なら」を実現するため、「共助」「互助」の精神のもと、市民の皆様の参画と協働により、奈良市の安寧と活性化に向けた取り組みを進めていきたいと考えております。今後ともこの計画の推進にあたり皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回の後期基本計画の策定にあたりまして、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様、様々な角度からご討議いただきました市議会議員の皆様、そして熱心なご審議をいただきました奈良市総合計画審議会委員の皆様にご心から感謝を申し上げます。

平成18年2月

奈良市長 藤原 昭

市のシンボル



花：ナラノヤエザクラ



木：イチイガシ



鳥：ウグイス